

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名：超低出生体重児における Germinal Matrix Hemorrhage (GMH) に対する研究』

【研究の背景および目的】

新生児、特に超低出生体重児 (< 1000g) において発症する Germinal matrix hemorrhage (GMH) の死亡率は最近の診断技術と集中治療技術の発達により低下しています。しかし、未だ未熟脳での GMH は、水頭症、脳性麻痺、てんかん、学習障害等の深刻で永続的な障害を引き起こす原因となります。そのため、GMH の発症を予防する上で、その臨床的特徴を見出すことは極めて重要であると考えられます。この研究は、超低出生体重児の診療情報、採血データ、心エコーデータ、頭部エコーデータから GMH の発症に関わる因子を明らかにすることが目的です。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2010年1月から2019年10月までに東邦大学医療センター大森病院 NICU に入院した超低出生体重児を対象とします。取得するデータは出生時の基礎データ、採血データ、エコーデータ、発達指数です。GMH 発症児はさらに、リザーバーの留置有無、髄液排出量、V-P シヤントの有無を追加します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や採血結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
脳神経外科医局
榊田 博之(ますだ ひろゆき)
電話 03-3762-4151